

「平成26年度 医療事故・紛争対応 人材養成講座」

東京：2014年5月17～18日、6月7～8日、7月12～13日

福岡：2014年8月23～24日、9月27～28日、10月25～26日



I 東京開催

1. 開催日時：2014年5月17～18日、6月7～8日、7月12～13日

2. 開催場所：N T T 東日本関東病院（東京都品川区）

3. 講師陣（講義開催順）：前田 正一（慶応義塾大学大学院）

藤盛 啓成（東北大学病院）

嶋崎 明美（独立行政法人国立病院機構 姫路医療センター）

江原 一雅（滋慶医療科学大学院大学/神戸大学大学院 医学研究科）

栗原 博之（N T T 東日本関東病院）

富永 理子（医療法人社団安田病院）

川口 雅裕（社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院）

南須原 康行（北海道大学病院）

児玉 聡（京都大学大学院）

高橋 長裕（千葉市青葉看護専門学校）

前村 聡（日本経済新聞社）

丸山 英二（神戸大学大学院）

藤田 みさお（京都大学）

永井 裕之

4. 参加人数：65名



II 福岡開催

1. 開催日時：2014年8月23～24日、9月27～28日、10月25～26日
2. 開催場所：九州大学病院地区キャンパス内（福岡県福岡市）
3. 講師陣（講義開催順）：
 - 前田 正一（慶応義塾大学大学院）
 - 江原 一雅（滋慶医療科学大学院大学/神戸大学大学院
医学研究科）
 - 嶋崎 明美（独立行政法人国立病院機構 姫路医療セン
ター）
 - 富永 理子（医療法人社団安田病院）
 - 田中 信一郎（独立行政法人国立病院機構 岡山医療セ
ンター）
 - 榎 実穂（独立行政法人国立病院機構 呉医療センター
中国がんセンター）
 - 入田 和男（佐賀県赤十字社血液センター）
 - 児玉 聡（京都大学大学院）
 - 池田 典昭（九州大学大学院）
 - 高橋 長裕（公益財団法人・ちば県民保健予防財団総合
健診センター）
 - 栗原 博之（NTT東日本関東病院）
 - 丸山 英二（神戸大学大学院）
 - 藤田 みさお（京都大学）
 - 稲垣 克巳

4. 参加人数：70名

平成26年度 医療事故・紛争対応人材養成講座(6日間42時間コース) 時間割(予定)							
	1時間	2時間	3時間	4時間	5時間	6時間	7時間
	9:30～10:30	10:30～11:30	11:30～12:30	13:10～14:10	14:10～15:10	15:10～16:10	16:10～17:10
第1回	医療安全管理総論			医療安全管理体制および医療安全教育			
(5/17)	医療安全関連制度の歴史、院内での安全管理体制	医療事故対応、医療事故の法的責任	アイスブレイクディスカッション	医療安全管理体制とその整備	医療安全教育とその手法	医療安全と診療記録	診療記録の監査/複製カルテ開示
(8/23)	前田正一			藤巻啓成/江原一雅		嶋崎明美	
第2回	医療安全活動の基本(有害事象の原因分析・再発防止策の検討)						
(5/18)	原因分析総論 -各種分析手法とその利点・欠点-	原因分析-分析の具体的手法	原因分析-演習(1)	原因分析-演習(2)	原因分析-演習(3)	原因分析-受講者による発表	原因分析-講師
(8/24)	江原一雅	藤原博之・富永理子・川口雅裕/富永理子・田中慎一郎・藤巻啓					
第3回	医療事故初期対応						
(6/7)	現場保存 -その意義・方法-	院内検証(一次検証) -その意義・方法-	患者への情報開示と謝罪(理論)	死因究明における前後 -前後の意義と前後の種別-	診療録遺失の前後 -具体事例にみる前後の意義-	社会への情報開示 -記者会見の意義・方法-	記者会見 -ポジションペーパーの作成-
(9/27)	南漢厚康行/入田和男		児玉聡	南漢厚康行/池田典昭		江原一雅/入田和男	
第4回	医療事故初期対応						
(6/8)	診療録遺失の警察届出 -医師法21条の解釈-	死亡診断書・死体検案書の書き方	記者会見-演習(1)	記者会見-演習(2)	記者会見-演習(3)	記者の立場からみた 社会への情報開示・演習の講師	
(9/28)	前田正一	高橋長裕	前村聡(新聞記者)、江原一雅/入田和男				
第5回	医療事故と倫理・法						
(7/12)	医療事故の隠蔽開への届出	インフォームド・コンセント(1) 総論および説明要件	インフォームド・コンセント(2) 同意能力・理解・同意の要件	インフォームド・コンセント(3) 説明・同意文書とその作成方式	医療事故の法的責任-総論	過失の判断(注意義務の基準)	因果関係の判断
(10/25)	藤原博之	前田正一			丸山英二		
第6回	コミュニケーション			被害者の声を聴く		まとめ	
(7/13)	コミュニケーションの理論と技法(演習を含む)			被害者として医療界に求めること		質疑の答	
(10/28)	藤田みさお			医療事故被害者(永井裕之/櫻垣克己)		前田正一	

* 講義の中では、時間割に記載がなくても、演習・グループ・ディスカッションが行われる場合があります。そこでは、理論と実践を架橋する解説がなされます。

* 時間割中、講師の名前が併記されている箇所については、前者が東京コースの担当者を、後者が福岡コースの担当者を示しています。